

静岡産業技術専門学校
カリキュラムポリシー

静岡産業技術専門学校は、卒業認定・高度専門士/専門士授与の方針（ディプロマポリシー）を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、シラバスにより目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準を明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。

さらに、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得するため、各分野において企業委員からの意見を聴収する「教育課程編成委員会」を毎年2回以上実施し、カリキュラムの定期的な見直しを行う。

コンピュータ科
カリキュラムポリシー

静岡産業技術専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、高度化するコンピュータの「エンジニアリング」に関する側面（A選択）と、「利活用者」に関する側面（B選択）の技術的要素を考慮した学習体系として編成する。両方に共通する要素は必須科目として配置する。

A選択では「プログラミング」「ネットワーク・セキュリティ」「データベース」の習得に必要な講義・演習を、体系的に編成する。

【1年次】

情報基礎理論、システム設計・開発、ネットワーク、データベース、セキュリティなど、コンピュータに関する基本的な科目を開設する。さらに、システム設計やアルゴリズム、プログラム言語の学習を通して、システム開発スキルを養うための科目を開設する。具体的には経済産業省基本情報技術者試験の合格に必要なとされる知識を習得する科目となる。情報セキュリティを学ぶ科目についても開設する。

操作技能向上のために、オフィスツールである Word、Excel、PowerPoint を、一から学習できる科目も開設する。

【2年次】

1年次に学習した基礎知識を活かし、さらに実践的な技術を習得するための科目を開設する。プログラミング言語では、オブジェクト指向型言語を使用して、データベースと連携した Web アプリケーションを構築するための科目を開設する。また、2年間の締めくくりとして、卒業研究によるシステム構築を行う科目を開設する。

B選択では「事務処理能力」「対人関係能力」「IT利活用能力」の育成に必要な講義・演習を、体系的に編成する。

【1年次】

対人関係能力育成のために、秘書技能を学ぶ科目を開設する。

IT利活用能力育成のために、情報基礎理論や、コンピュータシステム、ネットワーク、データベース、セキュリティなど、コンピュータに関する基本的な科目を開設する。ITパスポート試験受験に必要な科目をまず学習し、代表的なオフィス向けソフト（Word、Excel、PowerPoint 等）の操作技能習得を目的とした科目を開設する。

事務処理能力育成のために、また企業活動における基本として、情報セキュリティ、企業会計の仕組みを学ぶ科目を開設する。

【2年次】

IT利活用能力を更に高めるために、プログラム知識がなくても業務アプリケーションが作成できるシステム開発ツールを学ぶ科目、マクロと呼ばれる簡易なプログラム作成機能について学ぶ科目を開設する。さらにインターネットやクラウドを活用するための科目についても開設する。

事務処理能力育成のために、金融資産について学ぶ科目としてファイナンシャルプランナー3級合格のための科目を開設する。

みらい情報科
カリキュラムポリシー

静岡産業技術専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・高度専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、「プログラミング」「ネットワーク・セキュリティ」「データベース」の基礎から応用までを学び、国内国外のIT資格取得、共同研究やインターンシップ参加を考慮した学習体系として編成する。

【1年次】

コンピュータの基礎（ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク・データベース・システム開発・マネジメント・IT戦略など）、プログラミングの基礎から応用まで学び、経済産業省基本情報技術者合格を目標とした科目を開設する。更に、一般教養として、数学・英語を学び、帝京大学との連携により、レポートを通して社会人の身に付けるべき文章能力を学習するための科目、その他英語や心理学など幅広い知識を習得する科目を開設する。

【2年次】

1年次に学んだ知識・技術を応用したシステム開発を、PBL（Project Based Learning）体験型授業で実施する科目を開設する。2・3年生合同で企業や大学との共同研究に取り組むための科目、数理的手法による問題解決を学ぶ科目を開設する。

プログラム作成能力の育成科目として、Androidアプリケーション開発について学ぶ科目を開設する。

【3年次】

IT関連企業で約1ヵ月の研修（インターンシップ）を実施するための科目を開設する。プロジェクトリーダーとしてプロジェクト管理やマネジメントに取り組むための2・3年生合同科目を開設する。

プログラム作成能力の育成科目として、成長分野である組込み系技術を学習するための科目を開設する。

ネットワーク構築・運用能力を習得するための科目を開設する。またシスコシステムズ社技術者認定CCENT受験に必要な知識習得のための科目も開設する。

【4年次】

2・3年次に実施した共同研究を継続するための科目、Linux技術者認定試験受験に必要な科目、習得済みである「プログラミング」「ネットワーク・セキュリティ」「データベース」に関する知識を深化させるための科目、これらを統合するための卒業研究を行うための科目を開設する。また国際感覚育成を目的とした海外研修を実施するために必要な科目についても開設する。

CG技術科
カリキュラムポリシー

静岡産業技術専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、ゲーム・映像CG分野（A選択）と、広告・WebCG分野（B選択）の技術習得を柱とした学習体系として編成する。両方に共通する要素は必須科目として配置する。

【1年次】

CG技術の基礎を幅広く学習する上で必要となるソフトウェアの習得や技術習得を行う科目を開設する。また、3DCG、2DCGの制作基礎やWeb制作、広告制作に対する基本技術を学習する科目についても開設する。

【2年次】

1年次で培った技術を基に、より実践的な企業連携制作や個人作品を制作するための科目を開設する。また、就職活動の準備としてのポートフォリオ制作や企業連携を行うための科目についても開設する。

A選択には、アニメーション技法や実践的なゲームCG制作実習を行う科目を開設する。

B選択には、メディア媒体に対応した広告制作と応用的なWeb制作を行う科目を開設する。

【3年次】

最終学年としてさらなる個々の制作の技術を磨くための制作活動の授業や、3年間の総まとめとして卒業制作を行うための科目を開設する。A選択では人体構造の分析や、より現実的な動きを再現するための技術を学ぶ科目、B選択ではWebサービスや広告表現手法を学ぶ科目を開設する。

静岡産業技術専門学校

ゲームクリエイト科 カリキュラムポリシー

静岡産業技術専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、コンピュータの基礎的理論・技術をベースに、ゲーム開発に関わるプログラミング技術を中心として、ネットワーク技術、企画やデザイン、シナリオ、グラフィックスやサウンドなどのゲーム素材の作成を学習体系として編成する。

【1年次】

情報基礎理論や、コンピュータシステム、ネットワーク基礎など経済産業省基本情報技術者試験レベルのコンピュータの基礎知識を学ぶ科目を開設する。また、アルゴリズムやC言語などのプログラム言語を学習する科目、ゲーム制作に必要なゲーム概論やゲームデザイン、ゲームプログラミングなどの科目についても開設する。

【2年次】

1年次の基礎学習を踏まえ、より高度なプログラミング実習、素材として3次元CG、ネットワークプログラミングの技術、さらにより楽しいゲームを作成するためのゲーム企画などの科目を開設する。

【3年次】

さらに高度なゲーム制作の知識・技術の学習するための科目を開設する。特に3DCG表現、シェーダやネットワーク等の高度なプログラミング技術などが学習できる科目を開設する。

建築科 カリキュラムポリシー

静岡産業技術専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、建築士および建築施工管理に関する基礎知識を習得し、建設業界で活躍できる技術者となるため、建築計画・建築法規・建築構造・建築施工・建築設計の5つの基本科目をベースにした学習体系として編成する。

【1年次】

建築の基礎となる計画・設備・法規・構造・施工などの専門基礎知識を学ぶ科目を開設するとともに、手書きによる製図に関する科目及び建築CADの操作習得科目を開設する。

【2年次】

1年次に学習した基礎技術を基に、設計、施工、インテリアなどの分野ごとに、さらに深い専門知識を学ぶ科目を開設する。設計については住宅だけでなく美術館等の特殊建築物における設計手法を学ぶ科目の開設、施工については建築材料や各種工事の管理方法などを学ぶ科目、インテリアについては、色彩計画や商空間のデザイン手法に関する科目を開設する。

CADデザイン科
カリキュラムポリシー

静岡産業技術専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、モノ作り全般の基礎知識、機械設計の基本を理解し、3次元CADを利用して製品設計が出来る技術の習得を目指した学習体系として編成する。

【1年次】

モノ作り技術者としての基礎知識であるコンピュータ知識（ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク）、材料知識、製造知識、材料力学、機械製図の基礎、3次元CADの操作方法を学ぶ科目を開設する。

【2年次】

1年次で習得した基礎知識を基に、より実践的な3次元CADを用いた高度なモデリング、金型知識、NCプログラミング、色彩知識、3次元CADを用いた解析知識を学ぶ科目を開設する。また、学習の集大成として卒業制作を行うために必要な科目についても開設する。

医療事務科
カリキュラムポリシー

静岡産業技術専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、医療・医学に関連する幅広い専門的な知識、相手の立場に立った適切な対応ができる接遇力、IT化に対応できるパソコンスキルの習得を目指した学習体系として編成する。

【1年次】

医療事務に関する基礎知識の習得を目指し、医療保険制度、関連法規、医学一般、薬学一般について学習する。基本的な外来・入院の診療報酬明細書が正確に作成できるような科目及び、一般常識から幅広い応対力の基礎となる科目を開設する。

【2年次】

1年次の基礎知識を活かし、診療報酬請求事務能力認定試験や医師事務作業補助技能認定試験など難関資格合格を目指した知識理解を深める科目、対人関係能力向上を目的とした科目、医療系ソフトの操作の利活用能力を深めるための科目を開設する。現場実習を行うための科目についても開設し、これまでの学習効果を認識できる編成とする。

こども保育科
カリキュラムポリシー

静岡産業技術専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、保育のプロとしての技術、能力、視野と感性を養い、自分で考え行動できる保育者の育成と各施設での実習を考慮した学習体系として編成する。

【1年次】

保育・教育の基礎を幅広く学習する上で必要な知識や技術習得を中心に科目を開設する。

育ちの要素を5つに分類した5領域となる、「幼児と言葉」「幼児と人間関係」「幼児と環境」「健康（指導法）・表現」など基礎科目を開設し、上位学年に向けた基礎を固める学年とする。

【2年次】

1年次で培った技術を基に、より実践的な技術を習得するため、音楽技能向上科目、実習指導科目などを開設する。また、社会福祉分野と教育の分野を幅広く学ぶため、子ども家庭福祉・子どもの家庭支援論・教育相談・子どもの食と栄養などの科目も開設する。保育実習・教育実習などに臨むため、保育・教育の現状について理解を深める科目についても開設する。

【3年次】

保育士・幼稚園教諭二種取得に向けて、現場実習の最終段階として保育施設における実習、幼稚園における教育実習を完遂するための科目を開設する。

また現場で使える実践的学びを意識し、現実的な技術の習得や教材の作成を行うための科目についても開設する。